

2025年2月5日

三重中央医療センターで胎盤組織の超微細構造に関する研究に
参加された患者さんへ

「胎盤組織の超微細構造に関する研究」 への協力をお願い

岐阜大学大学院医学系研究科 感染症寄附講座と救急災害医学分野では、三重中央医療センターで胎盤組織の超微細構造に関する研究に参加された患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：

2018年8月28日～2019年12月31日の間に、三重中央医療センター産婦人科において、胎盤組織の超微細構造に関する研究に参加された方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2025年12月31日

研究目的・利用方法：

胎盤は母胎-胎児間でガス交換、栄養・代謝物質交換の他、様々な免疫学的機能を有します。しかしその形態学的微細構造は十分に解明されてはいません。本研究は電子顕微鏡等を用い、その構造を解明します。

研究に用いる試料・情報の項目

母体背景情報（年齢、既往歴、合併症、アレルギーの有無、産科合併症、
妊娠分娩歴、分娩予定日）

- 妊娠中投与薬/サプリメント、分娩時・分娩後投与薬
- 分娩方法
- 出生児情報（体重、身長、Apgar score, 臍帯血 pH, BE、合併症）
- 分娩時母体情報（分娩時出血量、分娩時合併症）
- 胎盤病理所見

検査項目

電子顕微鏡を用いた胎盤、臍帯組織の超微形態構造の解析

免疫染色による組織学的解析

Western blotting 法による蛋白の定量解析

研究に用いる試料・情報の利用又は提供を開始する予定日：

2025年3月10日

外部への試料・情報の提供：

電子顕微鏡サンプルはすでに過去の研究の際に岐阜大学に提供済みである。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、代表機関である岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において一括審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。各共同研究機関においても研究機関の長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び共同研究機関に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究代表

三重中央医療センター 産婦人科 部長 山口 恭平

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科 感染症寄附講座 特任准教授 鈴木 浩大

共同研究機関等

岐阜大学大学院医学系研究科 感染症寄附講座 特任准教授 鈴木 浩大

試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

岐阜大学大学院医学系研究科長 山口 瞬

【相談窓口】

三重中央医療センター 産婦人科

山口 恭平

〒514-1101

三重県津市久居明神町 2158-5

Tel : 059-259-1211 (代)